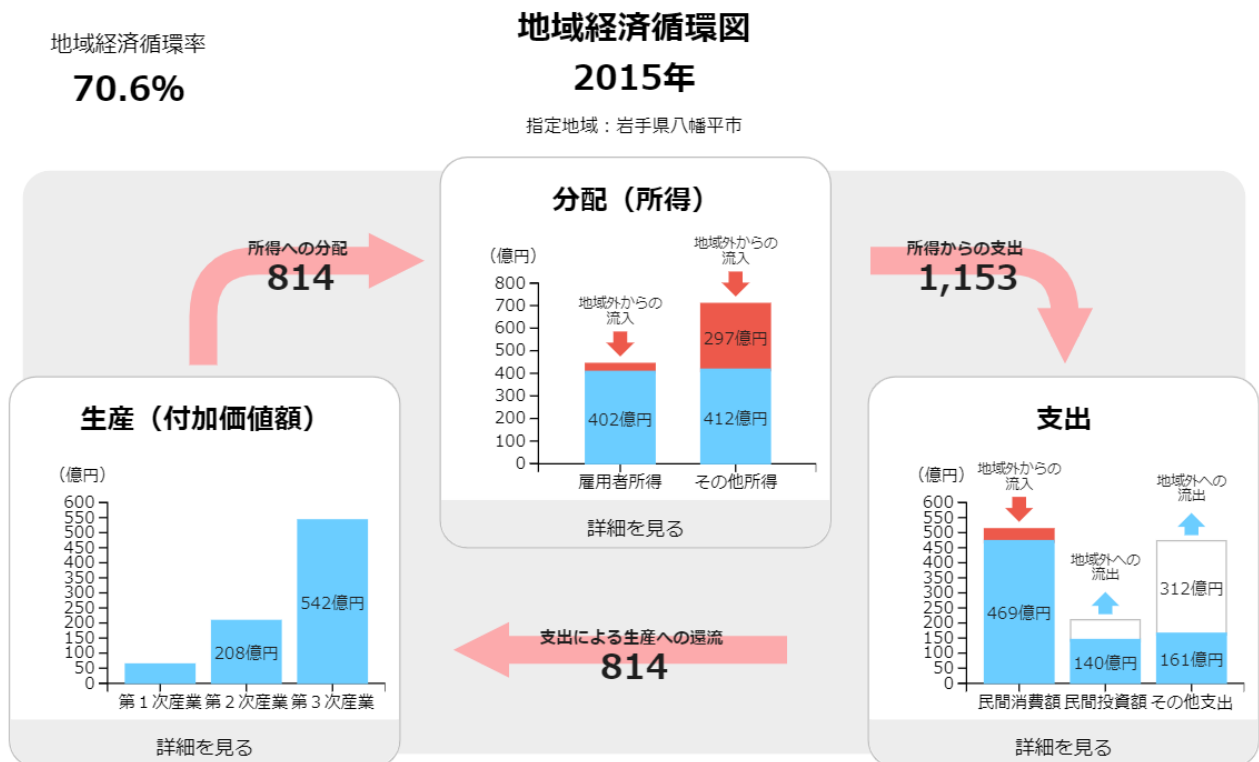


「RESAS」(地域経済分析システム)による八幡平市の現状

地域経済循環マップの特徴

「地域経済循環マップ」は都道府県・市町村単位で、地域のお金の流れを生産(付加価値額)、分配(所得)、支出の三段階で「見える化」することで、地域経済の全体像と、各段階におけるお金の流出・流入の状況を把握可能です。これにより、地域の付加価値額を増やし、地域経済の好循環を実現する上で改善すべきポイントを検討することができます。

八幡平市 2015年 (RESASの最新版データ)



【出典】

環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ)受託作成)
地域経済循環分析 <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

【注記】

本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。

<http://www.vmi.co.jp/reca/>

「地域経済循環率」とは、生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している。(値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。)

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等をいう。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」+「地域内産業の移輸出-移輸入」により構成される。

例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合(域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合)は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流出率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

我が国の国民経済計算体系は、平成27年国民経済計算より1993SNAから2008SNAに改定されたため、2015年地域経済循環分析用データも2008SNAで構築した。これに伴い、2010年および2013年データについても、時系列比較を可能とするため、2008SNAで再構築している。

【その他の留意点】+

「地域経済循環率」とは、生産(付加価値額)を分配(所得)で除した値であり、地域経済の自立度を示している。八幡平市は、70.6%と値が低く他地域から流入する所得に対する依存度が高いと言えます。

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等をいう。その他所得とは、財産所

得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用所得以外の所得をいう。八幡平市は、雇用者所得よりその他の所得が若干上回り、その他の所得においても41.9%は、地域外からの流入となっている。支出は、最も多いのが、民間消費額、その他の支出、民間投資額の順になる。

八幡平市は、「民間消費額」は他地域に44億円流入しており、「民間投資額」では70億円流出しており、「その他支出」では他地域へ312億円流出していることとなります。地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、支出が地域外に流出していることを意味し、逆に、地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が多い場合は、その差額が赤色のグラフとして表示され、支出が地域外から流入していることを意味します。(上記の「支出」の図を参照。)

右記の表は、地域内の住民・企業等が支出した金額に対する流出入額の比率を示す「支出流出入率」を把握することができます。

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	9.4%	-33.4%	-65.9%
支出流出入率 順位	556位	1,275位	798位

付加価値額 (一人当たり) 2015年

指定地域：岩手県八幡平市

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人当たり)	209万円	606万円	801万円
付加価値額 (一人当たり) 順位	1,141位	1,246位	496位

所得 (一人当たり) 2015年

指定地域：岩手県八幡平市

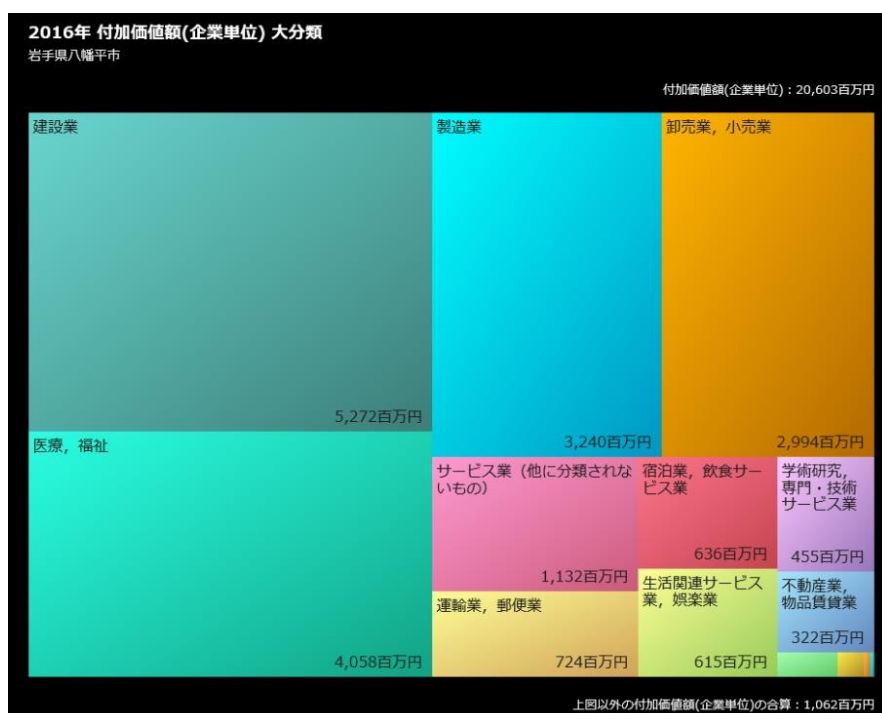
	雇用者所得	その他所得
所得 (一人当たり)	168万円	269万円
所得 (一人当たり) 順位	1,373位	467位

八幡平市の付加価値額は、一人当たり最も多いのが第3次産業、次に第2次産業、第1次産業となります。第3次産業の順位は、496位と500位以内になっています。一方、所得は、雇用者より、その他の所得が多く、269万円となり、全国の順位は、467位と高い数字になっています。

産業構造の分析 2016年 (RESASの最新版データ)

地域経済に貢献している産業を把握するために、22産業分類別の「付加価値額」、いわゆる「もうけ」の総額を分析する画面です。四角の面積の大きさが「付加価値額」に比例しており、建設業、医療福祉、製造業の順で付加価値額を産んでいることがわかります。

この画面では、「付加価値額」だけではなく、その源泉となる「生産額」、付加価値から分配される「雇用者所得」についても分析することが可能となります。



滞在人口の地域別構成割合 2016年 (RESASの最新版データ)

どの地域から来る人が多く滞在しているかを平日・休日別、男女別、年代別などで表示できるデータとなります。滞在人口率、自治体の実際の人口に対し、一時間あたり月間平均で何倍の滞在人口があるかを表示できます。下記の表では、コロナ感染症が流行する前の2019年12月のデータとし、時間帯を10時と4時に分けて比較します。

滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 市区町村

岩手県八幡平市

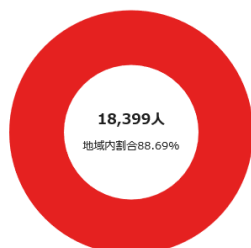
2020年12月 平日 10時

総数 総数 (15歳以上80歳未満)

滞在人口合計: 20,746人 (滞在人口率: 1.14倍)
(国勢調査人口: 18,122人)

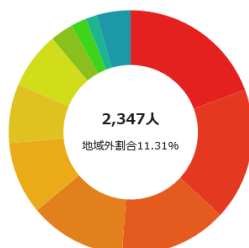
滞在人口 / 都道府県内

滞在人口 / 都道府県外



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

● 1位 岩手県 18,399人 (100.00%)



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 青森県 454人 (19.34%)
- 2位 東京都 411人 (17.51%)
- 3位 宮城県 335人 (14.27%)
- 4位 神奈川県 301人 (12.82%)
- 5位 秋田県 226人 (9.63%)
- 6位 千葉県 183人 (7.80%)
- 7位 埼玉県 177人 (7.54%)
- 8位 北海道 71人 (3.03%)
- 9位 福島県 49人 (2.09%)
- 10位 新潟県 34人 (1.45%)
- その他 106人 (4.52%)

滞在人口の地域別構成割合 都道府県 → 市区町村

岩手県八幡平市

2020年12月 平日 4時

総数 総数 (15歳以上80歳未満)

滞在人口合計: 21,089人 (滞在人口率: 1.16倍)
(国勢調査人口: 18,122人)

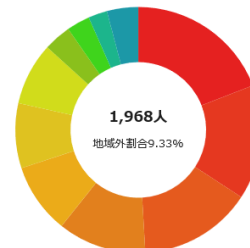
滞在人口 / 都道府県内

滞在人口 / 都道府県外



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

● 1位 岩手県 19,121人 (100.00%)



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 東京都 376人 (19.11%)
- 2位 宮城県 297人 (15.09%)
- 3位 神奈川県 293人 (14.89%)
- 4位 青森県 229人 (11.64%)
- 5位 千葉県 182人 (9.25%)
- 6位 埼玉県 168人 (8.54%)
- 7位 秋田県 162人 (8.23%)
- 8位 大阪府 71人 (3.61%)
- 9位 福島県 60人 (3.05%)
- 10位 北海道 49人 (2.49%)
- その他 81人 (4.12%)

同年同月の日中と深夜における人口について比較すると、県内の滞在人口は深夜の方が多く、県外の方が日中多いことが分かる。日中に県外から流入していることになるが、最も多いのが青森県、宮城県、秋田県が上位に入っている。深夜が多い県は、東京都、神奈川県、千葉県と人口が多い関東圏が上位に入っており、宿泊していることがわかる。

出所: RESAS <https://resas.go.jp/>